

2026年2月13日
No. 2025-034

次世代省エネ型バルクキャリア “MOUNT MAKALU” 引渡

ジャパン マリンユナイテッド株式会社(本社：神奈川県横浜市、社長：廣瀬 崇)は、2月13日(金)、津事業所(三重県津市)にて令和汽船株式会社／SAKURA SHIPPING S. A. 向けに建造していた次世代省エネ型バルクキャリア “MOUNT MAKALU” (マウント マカルー) を引渡しました。

本船は鉄鉱石/石炭の太平洋トレード用のケープサイズバルカーとして省エネ性能で評価をいただいたJ-211BCシリーズの系譜を継いだ新設計船 N-211BC の4番船です。

弊社従来船と同じ船体要目・載貨重量を維持しながらも、最新の省エネ技術を活用することで、EEDI PhaseⅢ環境規制、NOx(窒素酸化物)排出規制 Tier III、SOx(硫黄酸化物)排出規制等の最新規則を折り込み、更なる燃費低減を図っています。

【主要目】

主要寸法	： 全長 299.99m x 幅 50.00m x 深さ 25.00m
総トン数	： 108,999
載貨重量	： 211,900 トン
航海速力	： 14.0 ノット
主機関	： HZME MAN-B&W 7S60ME-C10.6-HPSCR x 1基
定員	： 25名
船級	： ABS
船籍	： Liberia

【特長】

- ・弊社独自の省エネデバイスである Super Stream Duct®、SURF-BULB®、ALV-Fin®の装備・最適化等により、大幅に推進性能を向上させ燃費削減を達成しています。
- ・LEADGE-Bow®と呼ばれる船首形状、及び、低風圧居住区の採用により、実海域性能を向上しています。
- ・GHG(温室効果ガス)排出規制である EEDI(エネルギー効率設計指標) (*1)に対し、2025年以降の契約船に適用される PhaseⅢレベルを先取りし、環境に配慮しています。
- ・一般海域へ適用されている SOx 排出規制に対し、SOx スクラバー (*2)を標準搭載しています。

(*1) “Energy Efficiency Design Index” (エネルギー効率設計指標)の略。

(*2) SOx スクラバーは、主機関および発電機関からの排気ガスを、装置内で海水散布洗浄し、酸性雨等の原因となる SOx を分離・吸収させ、大気への排出を抑制する装置であり、船舶からの排気ガスによる環境負荷を低減することを目的とした装置です。

弊社は今後も、経済性・環境性に優れた最新鋭の船舶の開発・建造に努めてまいります。

